



ETK1145125

e-BOX ss 工法書

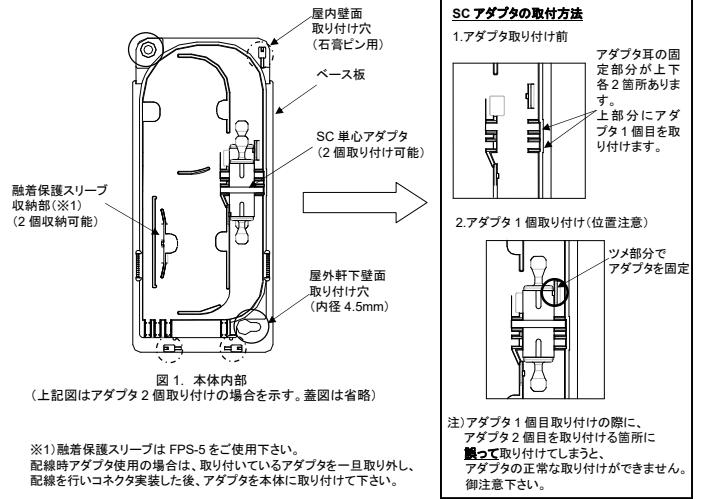
ご使用前に、この工法書を良くお読みの上、内容を理解してから、ご使用下さい。
お読みになった後も、この工法書は大切に保管してください。

安全上のご注意 ~安全にご使用いただくために必ずお守りください~

この工法書には、人体への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にご使用いただくために守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次に示すとおりとなっております。内容を良くご理解のうえ本文をお読みください。

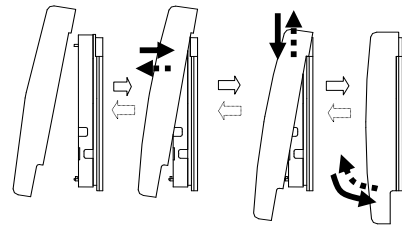
本製品に関する安全上のご注意	
危険 右記内容無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が極めて高いことが想定されます。	—
警告 右記内容無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。	<ul style="list-style-type: none"> 接続面は、落下などの無いように、確実に固定して下さい。 高所での施工時には、部品及び使用工具が落下しないようご注意ください。
注意 右記内容無視して、誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性および、物的損害の可能性が想定されます。	<ul style="list-style-type: none"> 刃物などのご使用時には十分に注意してください。 本接続面の組立には、本製品以外の部品を使用しないでください。 締め付けトルクを規定した作業は、その規定を守って作業をしてください。接続面の機能低下及び破損の原因となります。
お願い 右記の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、製品の性能を差障り出ない可能性及び、機能停止をまねく可能性が想定されます。	<ul style="list-style-type: none"> 光ファイバの配線は、許容曲げ半径15mm以上をお守りください。 融着作業は、ご使用の融着接続機の取扱説明書をご覧ください。

1. 組立方法 <部品の構成>



2. カバー開閉

カバーの下側を手前に引出し、カバーを上側にずらしてカバーを取り外す(図中破線矢印の動作)。また、カバーを取り付ける場合には、カバーを斜めにし、カバー上部を筐体の上側に被せてカバー下側をはめ込む(図中実線矢印の動作)。



3. 配線形態

(1) e-SCコネクタ+e-SCコネクタ接続(ケーブル収納のみ)の場合
本体収納時、ドロップ/インドケーブルを大きく巻いて収納します。(下図2参照)

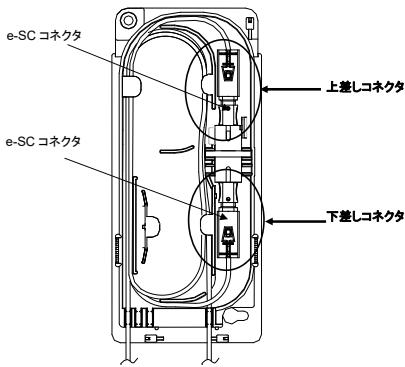


図2. 収納図(ケーブルのみ収納)

(2) e-SCコネクタ+融着(ケーブル、心線の混在収納)の場合
本体収納時、ドロップ/インドケーブルと心線を別々に収納します。(下図3参照)

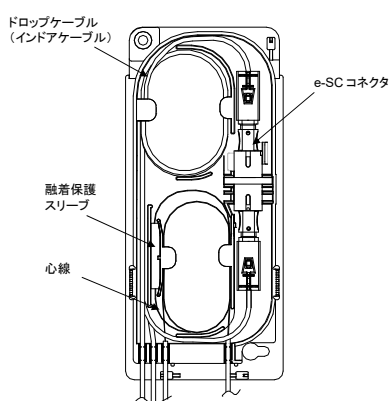


図3. 収納図(混在収納)

(3) 融着接続のみ(心線のみ収納)の場合
本体収納時、心線収納部に心線を収納(下図4参照)もしくは、大きく心線取り回し(融着保護スリーブ把持付近)収納して下さい(下図5参照)。下図5のように収納する場合、アダプタ収納部には心線を配線しないで下さい。

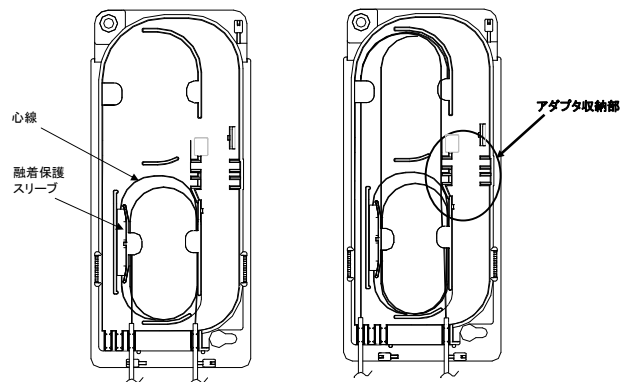
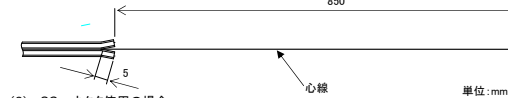


図4. 収納図(融着のみ1)

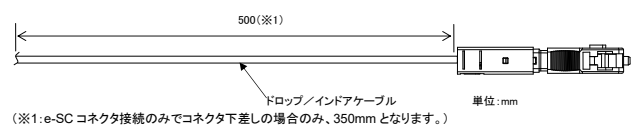
図5. 収納図(融着のみ2)

4. ドロップ/インドケーブルの処理

(1) 心線融着の場合
下図の通り、ケーブル中央の心線を取り出し口だします。FRP製テンションメンバはケーブルを断裂から5mmの位置で切断する。



(2) e-SCコネクタ使用の場合
e-SCコネクタ組立についてはe-SCコネクタ組立専用取り扱い説明書に従い、組み立て下さい。



(※1: e-SCコネクタ接続のみでコネクタ下差しの場合のみ、350mmとなります。)

5. 心線接続

ご使用の心線接続機の取り扱い説明書に従い、心線接続する。